



NILZZ

RACING FACTORY

MOTEGI GT 300km RACE

SUPER GT SERIES 2021 ROUND.4 RACE REPORT

カテゴリ	: SUPER GT SERIES 2021 GT300 クラス	公式練習	: 1'51.768 (GT300 クラス 29 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'50.749 (GT300 クラス B 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケースフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 20 位 (57 周)
ドライバー	: 田中優暉・飯田太陽		
開催地	: ツインリンクもてぎ (栃木県)		
開催日	: 2021.7.17~2021.7.18		
天候	: 晴れ (7.17) 晴れ (7.18)		
イベント 動員数	: 7,500 人 (7.17) 12,500 人 (7.18)		





2021年SUPER GTシリーズ第4戦”MOTEGI GT 300km RACE”が7月18日から19日にかけて、栃木県のツインリンクもてぎで開催。

NILZZ Racingは第2戦に続き田中優暉と飯田太陽が参戦した。

5月に行われる予定だった鈴鹿サーキットでのシリーズ第3戦が8月に延期となったため、約2ヶ月半ぶりの開催となった。ツインリンクもてぎの近くにメンテナンスガレージを構えるNILZZ Racingとしては、ホームコースでの開催ということもあって、これまで以上の意気込みを持ってシリーズ第4戦に挑んだ。

7月18日(土) 公式練習

梅雨明け直後のツインリンクもてぎは快晴に恵まれたが、朝から非常に暑く、本格的な夏に入る気配を感じさせるほどのコンディションとなった。

NILZZ Racingは久しぶりのレースということもあって、マシンチェックをはじめソフト/ハード面でさまざまな事柄に対する確認を行い、問題点を洗い出していく。

田中、飯田の両ドライバーはこのセッションにて順調に周回を重ね、1分51秒768のベストタイムでこの公式練習はGT300クラス29位となった。

7月18日(土) 公式予選

14時15分から行われた公式予選。

GT300クラスの予選Q1は今回も2グループに分けて行われ、Bグループに組み込まれたNILZZ Racingのアタックドライバーは田中が担当。





14時33分、GT300クラスのBグループ予選が10分間という短い時間で開始された。順位が目まぐるしく変動する緊迫した状況の中、田中も周回を重ねる事にベストタイムを更新する。計測4周目に1分50秒749の自己ベストをマーク。更なるタイム短縮を計るもセクター1~2で区間タイムを更新できず。過酷なコンディションになると予想される決勝レースを見据えてタイヤを温存するため、NILZZ Racingは田中にピットインを指示。結果、GT300クラスBグループ予選は13位。予選Q2進出は果たせなかった。その後行われた予選Q2の結果により、NILZZ Racingは第4戦の予選はGT300クラス25番手からのスタートが決定した。

7月19日(日) 決勝

決勝日を迎えたツインリンクもてぎは予選日に引き続き好天に恵まれ、非常に暑いコンディションとなった。13時16分、2周のフォーメーションラップを終えてシリーズ第4戦の決勝レースがスタートした。今回のスタートドライバーは飯田。オープニングラップから順調に周回を重ねていくが、この灼熱のコンディションでタイヤのグリップダウンが激しく、苦戦を強いられてしまう。予定より早く22周を終えた飯田はピットイン。交代した田中はこれからチェッカーまでの間、過酷なコンディションの中でロングランを行うことになる。ピットアウト直後こそ最後尾付近まで順位を落としたものの、田中は着実に周回を重ね、57周を終えGT300クラス21位でチェッカーフラッグを受けた。



決勝レース終了後の裁定によりフルコースイエロー (FCY) 中の減速違反によるペナルティが他チームに下されたことで NILZZ Racing は今回の第 4 戦は GT300 クラス 20 位となった。

次戦は三重県の鈴鹿サーキットに舞台を移してのシリーズ第 3 戦となります。

まもなく 2021 年シリーズも折り返しを迎え、更なる激戦が予想されます。

好成績を上げるためには皆様のご支援、ご声援が必要です。引き続き NILZZ Racing を宜しくお願いいたします。

